

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、21～25℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——シケの日が多かった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり1トンの水揚げで前週並み（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり18kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり409kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり67kgの水揚げで前週の1.8倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり733kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ブリなどが1日1統当たり393kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり500kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり262kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり233kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/13～6/17の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は能登沖に出漁。赤イカは北太平洋で操業中。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖に形成された。主漁場は山口沖、隠岐海峡及び能登半島となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-16号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>